

<p>研究代表者</p>	<p>所属学系・職名 数理・情報学系 准教授 氏 名 中村 勝一</p>
<p>研究課題</p>	<p>複数関係要素を考慮した Web 上の可変的人間関係ネットワーク抽出手法 Methods for Dynamically Extracting the Human-Relationship Networks on the Web Considering Multiple Connection Factors</p>
<p>成果の概要</p>	<p>【背景・目的】 Web 環境上での情報発信や知的生産活動の隆盛に伴い、人間関係ネットワークの把握に対するニーズが高まっている。一方で、ソーシャルメディアを含めた Web 自体の複雑化に連動して、人間関係把握は困難さを増している。本プロジェクトでは、人間関係に介在する複数の要素（関係要因）と、その可変性に対応し得る新たな抽出手法の開発に取り組んだ。</p> <p>【方法】 本研究は、主に以下の手順により遂行した。 ・人間関係ネットワークの実際様態分析 ・複数関係要素を考慮した人間関係ネットワーク抽出手法の設計 ・プロトタイプの開発 ・検証・知見集約</p> <p>【成果】 実際の人間関係ネットワークに介在する「関係要因」と、「人間関係ネットワーク自体の変化の様子」を丁寧に観察・整理した。これら分析結果に基づき、有望ないくつかの典型ネットワークを対象として、人間関係ネットワーク抽出手法の開発に取り組んだ。その上で、抽出・視覚化システムのプロトタイプを設計・実装した。 結果として、複数関係要因を考慮した人間関係ネットワーク抽出のフレームワークを構築することができた。また、開発した手法を実際の Web データに適用した実験を通して、提案手法の特徴を検証し、いくつかの知見を得ることができた。 従来は静的抽出が殆どであった人間関係ネットワークについて、可変性に対応した視覚化の新たな可能性を見出すことができたものと考えられる。</p> <p>【主な学会発表等】 [1] Hikaru Fujisawa, Ryo Onuma, Hiroki Nakayama, Hiroaki Kaminaga, Youzou Miyadera, Shoichi Nakamura, Dynamically Visualize the Human Relationship Network on the Web Depending on the Difference of Gaze Factors, <i>Proceedings of 17th International Conference on WWW/Internet</i>, pp.420-422, 2018.</p>

<p>成果の概要</p>	<p>【組織】 中村 勝一（数理・情報学系 准教授） 神長 裕明（数理・情報学系 教授） 大沼 亮 （共生システム理工学類 特任助教） 中山 祐貴（早稲田大学 講師） 宮寺 庸造（東京学芸大学 教授）</p>
--------------	---